

All about my hometown

ALT通信



SHIRAKAWA ODORI (Bon Dance)

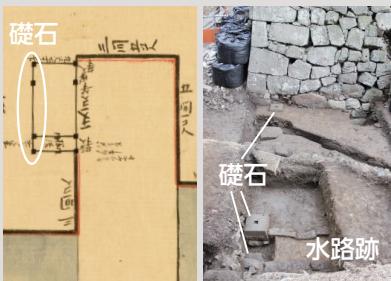
The Bon dance is danced during the season of Bon, around the 15th of August, to hold a service for the dead.

It is said that at the time of the Boshin War approximately 150 years ago, the soldiers of the Choshu and Ogaki feudal clans joined a circle of the Bon dance with the citizens of Shirakawa to console the souls of their fellow soldiers.

For the soldiers who returned home, "Shirakawa Odori" was the memorial service for their fellow soldiers, and has spread within the prefectures of Yamaguchi and Gifu where it is still danced today.

死者を供養するため、盆の時期（8月15日頃）に踊られる盆踊り。

今から約150年前の戊辰戦争時、白河の領民による盆踊りの輪に長州藩・大垣藩の兵士も加わり、戦友の靈を慰めたと伝えられています。帰郷した兵士にとって「白河踊り」が戦友の慰靈であつたことから、山口・岐阜県内各地に広まり、今でも踊り継がれています。



▲御櫓絵図左と発掘調査で確認した
搦手門跡右

平成25年に発掘調査を実施した搦手門跡では、門の礎石と水路跡を確認しました。礎石は、一辺が40cmほどの大きさで、4個の石が南北方向に直線的に並んでいました。これらは、江戸時代の絵図（御櫓絵図）の記載と一致しており、門跡の東側の柱列であることが分かりました。

水路跡は、壁に板状の石を並べたもので、門の北側に設けられていました。幅は50cmほどで城内から城外への排水に利用されたと考えられます。

上段の石材が火を受けて赤く変色している痕跡を確認しました。また、石垣の上面をよく観察すると、細長く変色していなない部分もあり、これは堀の基礎にあたるものと判断しました。いつの火災の痕跡かについては、今後さらに検証を進めていきます。

こうした発掘調査により、絵図や文献資料だけでは知ることのできない、土中に隠された小峰城の歴史を明らかにすることができました。

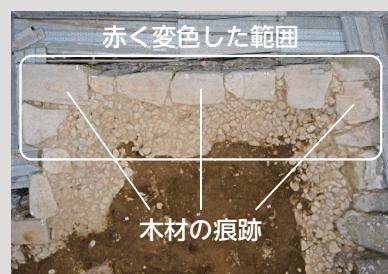
メモ



▲調査した門跡

小峰城の石垣

⑤門跡の調査成果



▲藤門跡の火災の痕跡